

村松座長提出資料

(第3回に続き再提出)

第4回特色ある県立高校づくり懇談会

経済産業省 商務・サービスグループ サービス政策課 教育産業室
室長 五十棲 浩二氏
R5.11.28 信大教育学部附属長野地区ラウンドテーブル講演資料
※紹介許諾済

教育DXと未来の教室

2023年10月



経産省 → 学校現場（中高）7年 → 経産省

- ・授業担当（週10－15コマ）
- ・担任（中2・中3）
- ・SSH立ち上げ
- ・一人一台端末
- ・国際教育委員長
（研修、留学支援等）
- ・不登校（修学支援センター）
- ・大学院（教育経済学）

●教育産業室

- ・文科省からの出向
- ・教委から5名

多様性の時代

多様な生き方

多様な他者との協働

正解がない

多様性・自己選択の時代には幸せと厳しさが裏表に存在

各個人が、
自分の人生について
自ら選択**できる**

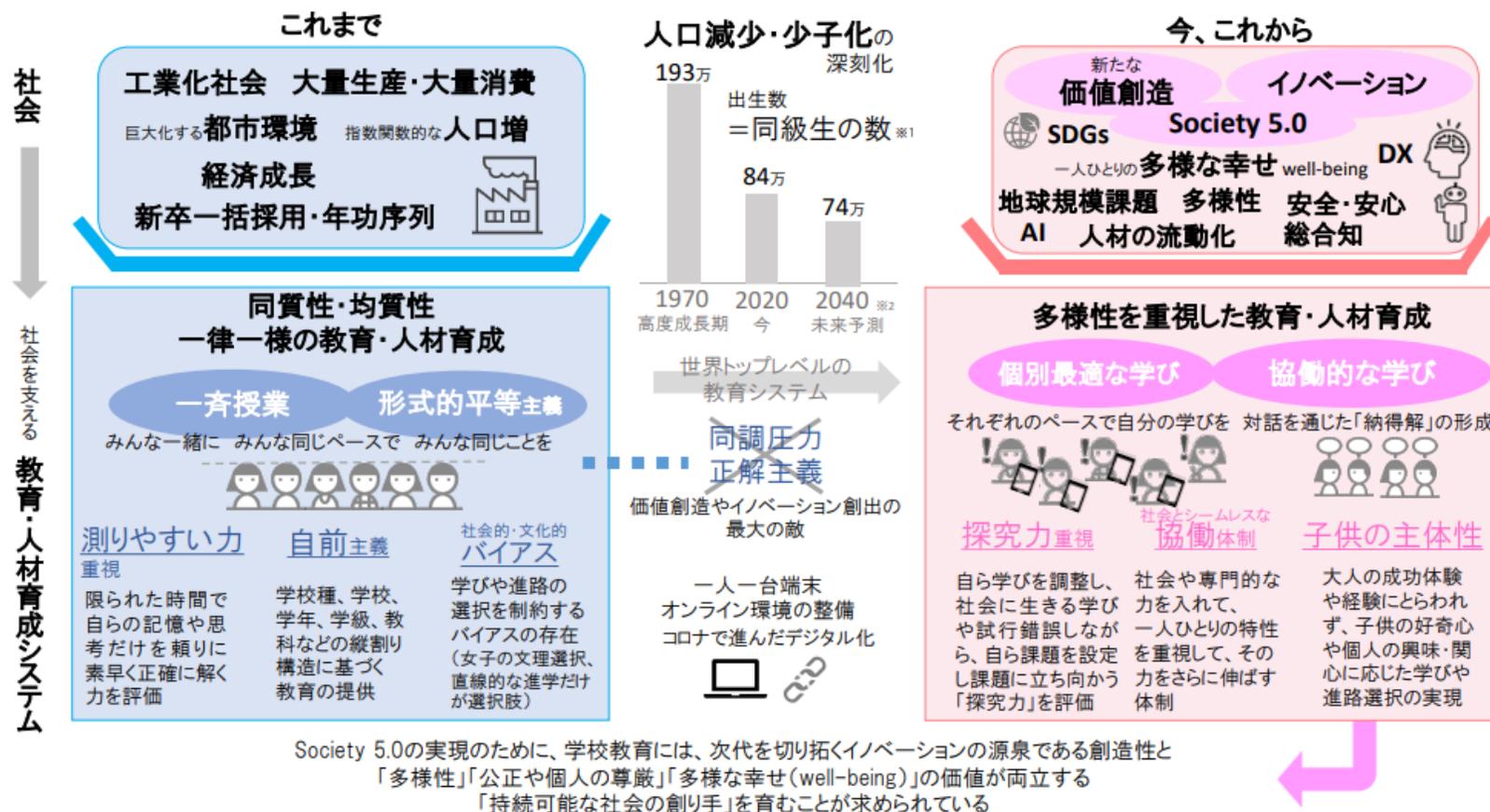
各個人が、
自分の人生について
自ら選択**せねばならない**

「そろえる教育」から

「伸ばす学び」へ

我が国の教育・人材育成の方向性は「多様性を重視した教育・人材育成」

- Society 5.0時代、DX、そしてアフターコロナという大きな時代の転換期にある今、子供の可能性を最大限引き出す教育・人材育成システムの抜本的な転換が急務。
- 新学習指導要領等を踏まえ、全国約100万人の教師が必死に取り組んでいる状況。



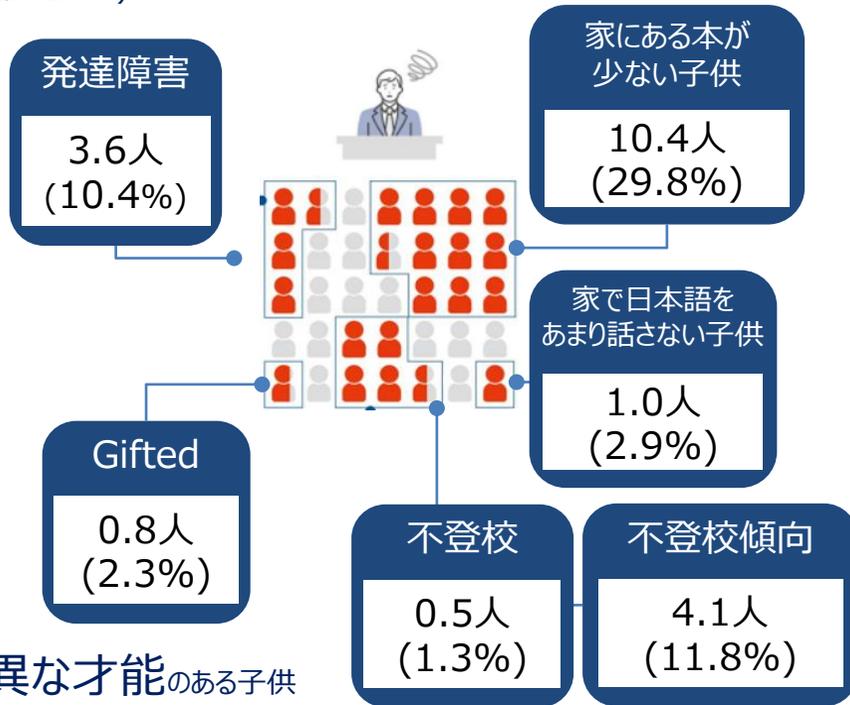
(参考) 内閣府総合科学技術・イノベーション会議「Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」(2022年6月2日)

教室の中の児童生徒は様々。現状の学校の体制での対応は困難に。

発達障害の可能性のある子供
(学習面or行動面で著しい困難を示す)

家庭の文化資本の違い

※家にある本の冊数と正答率の間には
相関家に本が10冊又は25冊と答えた割合



特異な才能のある子供

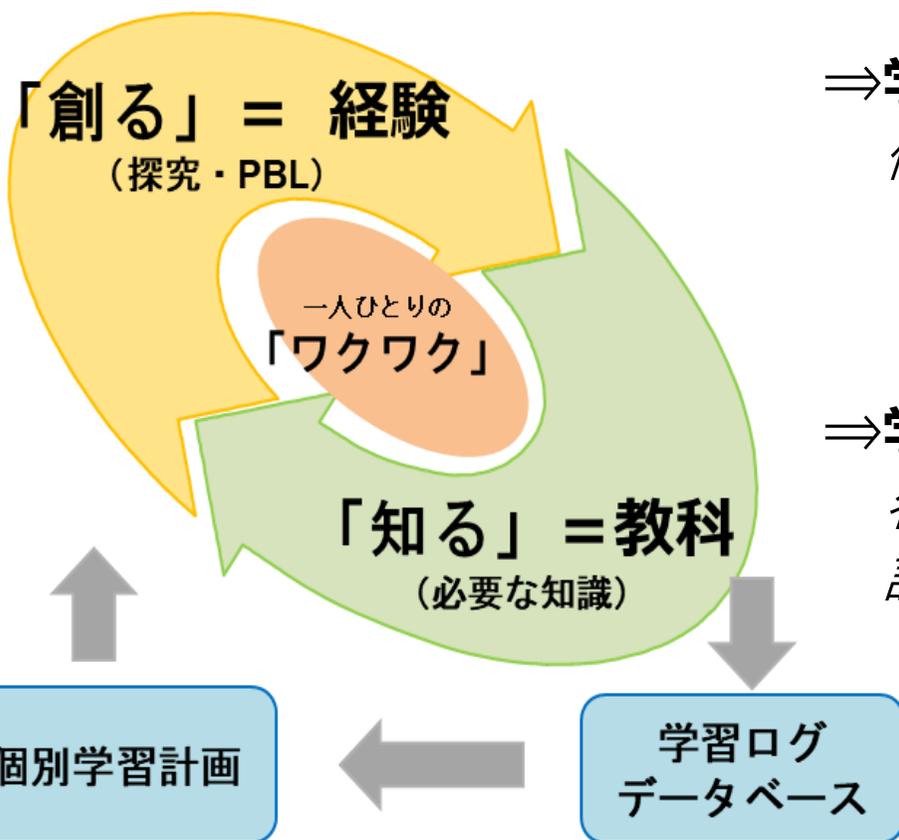
授業が暇で苦痛。価値観や感じ方の共感も得られなくて孤独。発言すると授業の雰囲気壊してしまう

不登校・不登校傾向の子供

- 教員の多忙、成り手不足
- 部活の地域移行
 - 金銭負担 (受益者負担?)
 - 担い手不足
- 低下傾向にある学習意欲
- 特に地方部での学校小規模化の進展

デジタル化時代(一人一台端末、インターネット環境整備) における学びの変容

デジタル化により、これまで教育現場でニーズがあっても難しかったことが**技術的には可能**に



⇒**学びの探究化・STEAM化 (=学際探究)**
価値を「創る」ために「知る」学びへ

⇒**学びの自律化・個別最適化 (=自己調整)**
各自が自分のペースを作り、主体的に学ぶ
誰一人取り残さず・留め置かない学びへ

学びがどう社会・生活とつながっているか

学びの面白さ

- 言語化⇔抽象化
- 抽象化ができるほど「つながり」が見える
- **具体と抽象**の往還
 - ✓ 共通点・相違点を切り口を変えて考える
 - ✓ 科目内／科目をまたいだアプローチ

□ 学びのSTEAM化・探究化

- 多様な社会の中で**納得解をつくるためのスキル**を学ぶ
- 各学問分野で**切り口・考え方が異なる**
 - Science : 科学的な真理探究の目線から
 - Technology、Engineering : 技術、工学的な観点から
 - Liberal Arts : 人間社会との関連という観点から
 - Mathematics : 数学的な観点から
- 「科目」を通じて様々なアプローチ・考え方の「型」を学ぶ
- あらゆる科目の力を動員しながら**多角的に取り組む**
- **独りよがりではなく、人類の歴史や科学的真理探究、合理性の観点からも考え、他者と共有する**

価値観が**多様化**し、**少子化**が進行中の日本。
財政上の制約や**労働力不足（教員不足）**といった制約も存在。
このような環境下で、如何に**豊かな学び**を実現するか

文化祭を盛り上げたい。
予算制約がある。**天候**によって当日の状況は変わる。
多くのお客さんに来てもらいたい。**客層ごとにニーズ**は異なる。
生徒がそれぞれ**参加意識**を持ち、**充実感**を持って欲しい。

サッカーの試合に勝ちたい。
個別の選手の力量だけを見ると分が悪い。
当日は**雨の予想**。グラウンドは人工芝。
過去の試合内容から、どのような戦略を採用すべきか

探究と教科を接続させる仕掛け（長野県立坂城高校）“すららプレイリスト”

2年の坂城学では各自の興味関心の強いテーマをWEBページに纏めるというワークを実施した。

授業で興味を持った“世界の水不足”の原因について、“すららの地理”で学ぶことで背景知識の理解を深めた。

“地産地消”に取り組む”という自分なりの解決策を示す（ここから「ホントに？」のやりとりが始まる必要があるが）、「探究」と「教科学習」が接続したプレゼンテーションが見られた。

人口13億人 インドの水不足問題

- ・ 約6億人が深刻な水不足に悩ましている
- ・ 水の70%が汚染されている
- ・ 国土の4割が干ばつを起こしている



←飲み水を求めて列をつくる人々

日本が綿花を大量に輸入しているのも要因!?

詳しくはすらら 「地理」



進路目標と関連づけた個別学習計画の策定

坂城高校は高卒就職する生徒がメインであるため、受験勉強を教科学習の動機付けにはできない。そこで、生徒の進路目標立案を支援しつつ、進路目標に紐づく教科の単元をレコメンドし、個別学習計画を策定した。

進路目標に紐づく個別学習計画の策定

進路目標を立てるため「キャリアノート」を作成

坂城高校2年キャリアノートの記入見本

氏名 田中一郎 さんのキャリアノート			
今年度の目標「2年生のうち自分の進路をはっきりさせる」(ここは固定)			
進路希望(番号)	こだわり(番号)	進路や将来について考えたり、取り進んだこと。	記入日
9月 ⑤	④	あまり考えてこなかったの、何も取り進んでいない。	9月30日
10月 ⑤	④	担任の先生から具体的に考えるよう言われたので、調べるとともに、進路指導室に行ってみた。	10月31日
11月 ⑤	②	これまでの取組を振り返って自分史を作った。考、考えている仕事は資格が必要なので、専門学校を調べてみた。	11月30日
12月 ④	②	専門学校オープンキャンパスに参加して、やはり、資格があったほうがいいことがわかったので、調べ直してみた。	12月23日
1月			1月 日
2月			2月 日
振り返り			

学んだ内容の振り返り、次回までにすべきことを整理する。

- 国語と理科において隔週で利用

教科 目名	現代文	氏名	本木大哉	さんの学習ノート Vol.4	日付	10月28日(木)
今週の学習テーマ 「新しい地球観」						
(1)今週、学んだこと・取組んだこと・なるほどと思ったことは何ですか？	メルカトル地図に自国が中心に書かれていることで、自国が世界の中心であるという錯覚を起こしてしまう。しかしオーサグラフにより世界に中心はなく一つにつながっているという新しい地球観が見れる。					
(2)来週、学習する・取組む内容は何か？	・井上ひさし「ナイン」(教p.98)					
(3)来週の授業までに準備することは何か？	新しい地球観の習った場所をまとめる	(4)その準備は、いつ、どのようにしますか？	学校で時間を作る			
(5) 友だちのここに感心・注目したところは何か？	今週、終わって、今、どんな気持ち？★6つで最高！ 充実度は？ ★★★★★ 興味・関心は？ ★★★★★ うまくやれた？ ★★★★★					

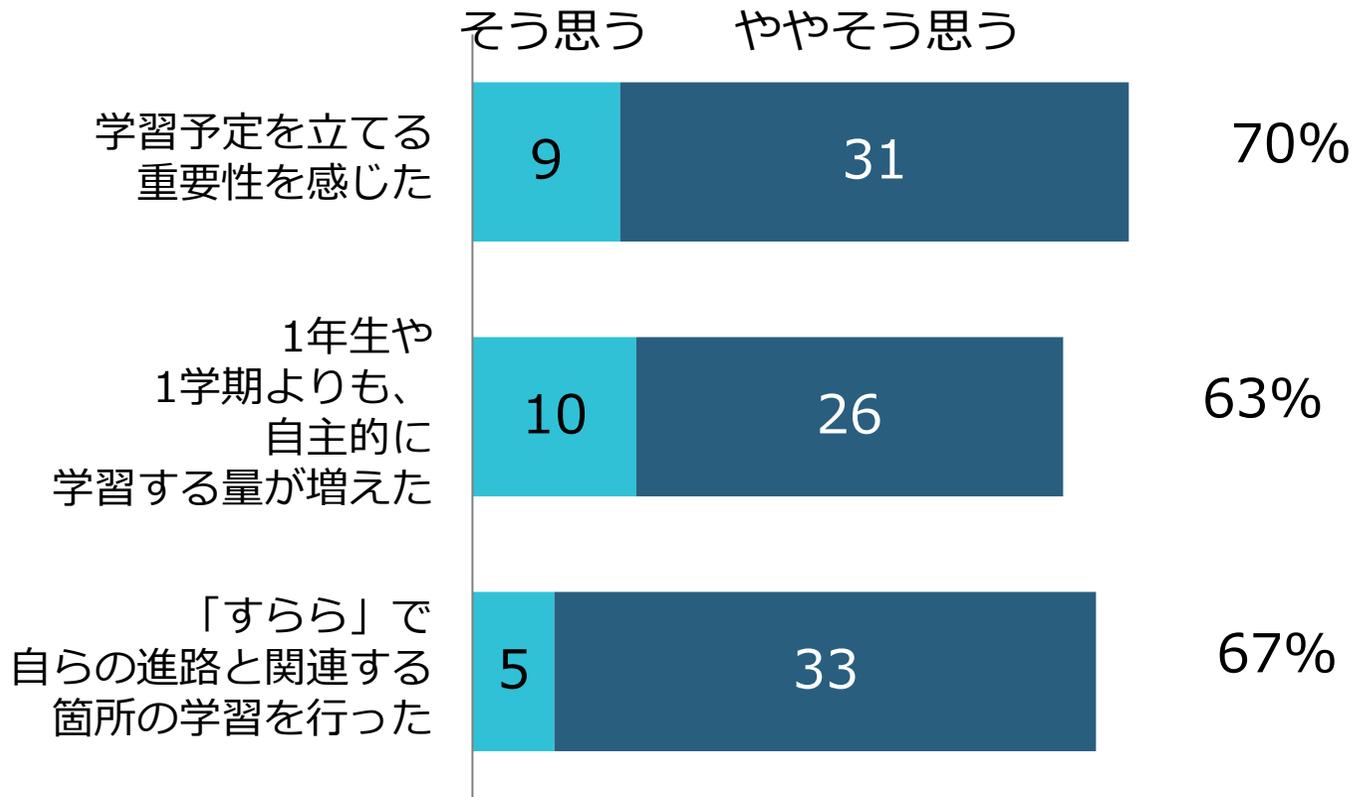
進路目標と教科を紐づけ

- 「すららプレイリスト」を活用

企業種	関連スキル
地理と産業	社会： 気候からつかむ農業 工業の立地…
工業系	理科： 金属と非金属、 エネルギーとその利用…
医療福祉	理科： 感覚器官のつくり 運動のしくみ…

個別学習計画の策定による、生徒の変化

生徒の変化



【生徒コメント】

自分で「やること」を書いちゃっているので、
なんとか克服しようという気持ちになり、週末に課題に取り組む時間が増えたかなと思う。

(参考) 2021年度「STEAMライブラリー」開発コンテンツの一覧(1/4)



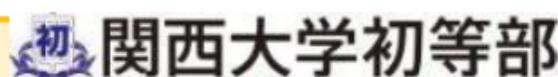
みんなのルールメイキング

- 自分のまわりの「当たり前」を、一度疑ってみよう / 校則・ルールは「どうせ変わらない」のではなく「変えていける」! / そもそも前提となる「ルール」と「対話」とは? (総合探究×社会×国語…)



スーパープレーに隠された科学/サッカーのデータ分析

- サッカーの原理を考えることで、日常生活で「なぜ」を考えるきっかけにする / サッカーを通して、他のスポーツでも活用できるデータ分析のスキルを学ぶ (体育×数学×理科…)



GIGA時代に対応した国民的教材 「ごんぎつね」のSTEAM化

- 「ごんぎつね」の物語を仮説演繹で紐解くと、何が
見えてくる? (地理×地学×生物×化学…)



国内外の先端研究機関やアカデミックパートナーと 連携したSTEAMコンテンツ

- 量子力学は情報通信をどう変えるのか? / 個人の遺伝子情報、どこまで知りたい?... (物理×生物×社会…)



身近なものを学びに変える! リベラルアーツ×STEAMプログラム

- 対立する意見をどうまとめていくか? ~合意形成を学ぼう~
- 気候変動を人間中心イノベーションで解決する!
(公民×社会×現代社会×総合)



アニメを現実世界に!? 『動く実物大ガンダム』への挑戦から夢を形にする方法を探れ!

- アニメを現実世界に再現するときのハードルって何だろう? / ワクワクの先が未来につながっている (総合×工業×公民×図画工作×算数)



昔話のフシギを科学的に考えよう!

- 『桃太郎』の桃は、どれほど大きい? 『ジャックと豆の木』のジャックは、どこまで登った? 『うらしま太郎』の竜宮城は、どこにある?
- おなじみの昔話を題材に、子どもたち自身が疑問を抱き、さまざまな材料を集め、自ら考える力を養う授業を提案 (理科×算数×社会…)



STEAM CHAOS (スチームカオス)

- 地域の産業・文化をテーマとした9つの探究コンテンツ
- ①火山 ②海 ③黒みりん ④膜 ⑤城 ⑥神楽・たたら ⑦森林 ⑧久留米餅 ⑨お茶



社会が実際に抱える課題を 入口に始める探究学習



教科書

タンザニアの未電化地域で
電化を考える



プラスチックごみと
海洋汚染を考える



活性汚泥の微生物と
排水浄化を考える

「課題の構造」や「研究論文」を理解する上で必要な教科

物理 化学 数学 英語 国語 生物 地理 公共



学んだ知識が探究に活きる経験を繰り返す



自分に合った教科書・教材を選んで、必要な知識を手にする

教科書・副教材

図鑑・本
(図書館)



スタディサプリ

...

産業構造審議会 教育イノベーション小委員会 主な論点

1 小中学校：「クラス単位の授業時数管理」から「個別学習計画に基づく学び」へ

「時間・空間」
の組合せ自由度向上

高等学校：一人一台端末環境を前提とした新たな高校での学びの可能性
少子化を踏まえた小規模校でのオンライン積極活用

多様な学びの場の選択肢の拡大

好奇心・探究心に応える「サード・プレイス」の拡充

2 多様なEdTech教材を活用した学習環境下における教育データの利活用の推進

「教材」
の組合せ自由度向上

探究的な学びの支援：多様な教材の整備・普及と評価手法の開発

探究（横割り）と教科（縦割り）の学習指導要領コード等での紐付け

3 「多様な伴走者」の学校参画促進（大学生TAや多様な企業人・研究者等）

「コーチ」
の組合せ自由度向上

「多様な経歴の教員」が増える教員免許制度の実現

4 「出口」の再デザイン
高卒就職市場の多様化／高校・大学の入学者選抜の多様化

5 学校の「生まれ変わり」の土台づくり



教員間の対話を通じた
信頼性の高い組織への改変



「眠れる財源・資源」の活用
－発想の転換－

「地域拠点」としての
学校インフラの活用
－全世代型の学び・生活・仕事
拠点化－

「コース料理・幕の内弁当」 から 「ビュッフェ」型の学びへ



全員同じメニューで
全員に満足してもらおうとする

(好き嫌い、量の加減、アレルギー等には
個別に対応?)



各個人の好みはそれぞれ異なる
多様な選択肢を用意する

(厨房・お客双方とも満足度が高く、
無駄も少ない)

※学びにおいては
「選び方を学ぶ・学び方を学ぶ」ことも必要

「自治体・学校ごとの縦割り」 から、シェア型サービスとのハイブリッドへ

自治体ごと、学校ごとの縦割り

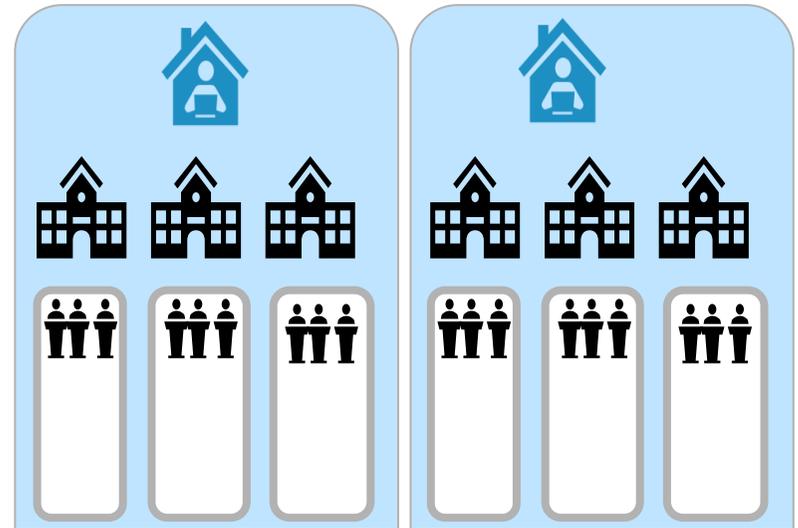
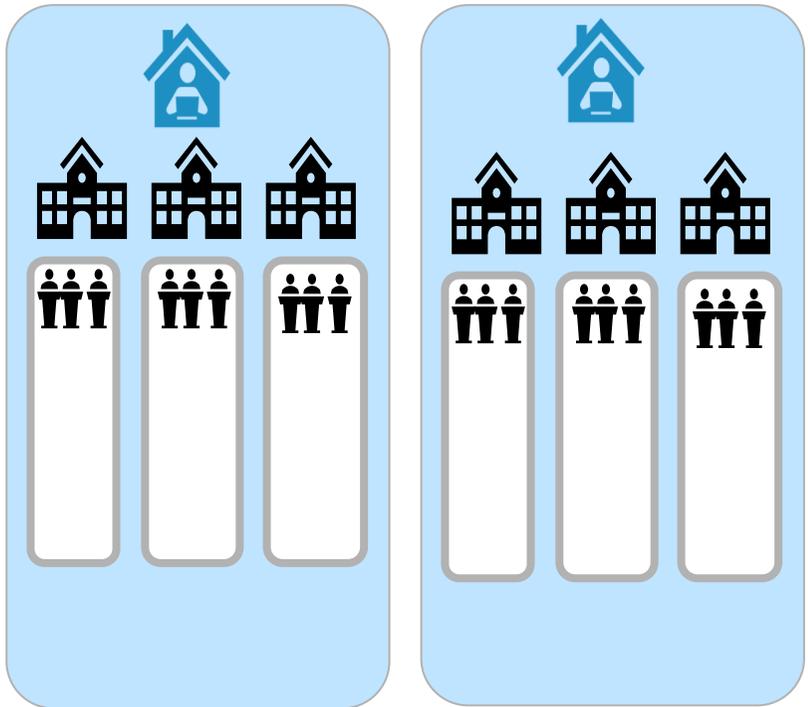
自治体ごと、学校ごとの取り組み

+

自治体・学校をまたいだシェア型サービス

教委

学校



- 授業支援（教科「情報」、遠隔、EdTech、等）
- 探究支援、地域企業との協働等
- 機器（3Dプリンタ、センサー、ドローン等）共有
- 学校間 単位互換・留学ネットワーク
- 不登校ケア
- 学校外の学び（学びのサード・プレイス）

自治体内の学校間で機器をシェアをすることで、予算の効率化を実現

埼玉県久喜市

- ドローン、3Dプリンター、センサー、ロボットプログラミングに使用する機器など
- 各学校で1年間通じて使用するわけではないものが多い
- 自治体で購入し、数ヶ月ごとに学校間を移動していく



GIGAスクールLab

マイエコバッグ作り

プログラミング等でデザインを作成し、
穴版印刷機材 [MIScreen 34] で制作
するプロジェクト型学習



わくわくしながら友達とつくりました。
大人になっても使いつづけたいです。

青毛小学校 2年 創巻 東輝香さん

アーテックロボでプログラミング

モーターやセンサーを組み合わせ、プロ
グラミングしたロボットを動かす学習



プログラムを組みロボットを動かすこと
が楽しいです。より高度なプログラムを作
れるよう練習します！

新宮東中学校 2年 石川 善樹さん

ドローンプログラミング

ドローンの動きをプログラミングで制御
する。問題解決型プログラミング学習



友達と協力して浮いた時や頭の中で想像
した通りにドローンが動くのが楽しかった
ので、またやってみたいです。

溝久小学校 5年 渡部 梨菜さん

3Dプリンターでモノづくり

設計ソフトを使って制作したものを3D
プリンターで出力する学習



自分の思いを端末で設計して立体的に表
現することができたので、嬉しかったです。

相模小学校 4年 田中 優衣さん

ロボットプログラミング

プログラミングロボット [Root] の動作
を自分たちで設定し、ホワイトボード上で
動かしたり、作図したりする学習



プログラミングで楽しかったことは、友
達と協力し、失敗してしまったりを改善
して、成功できたことです。

東新宮小学校 6年 松島 知穂さん

長野市：クーポン勝代雲により個人の多様なニーズに応える学びの環境創出

子どもの体験・学び応援モデル事業（「みらいハッ！ケン」プロジェクト）を実施します。

目次

- ✓ [新着情報](#)
- ✓ [1.「みらいハッ！ケン」プロジェクトの理念](#)
- ✓ [2.事業の概要](#)
- ✓ [3.利用者みなさまへ](#)
- ✓ [4.参画パートナーみなさま](#)



市内小中学生の皆さんを対象に、スポーツや文化・芸術、自然体験、民間の各種教室などに利用できる1万円分の電子ポイントを配布します。

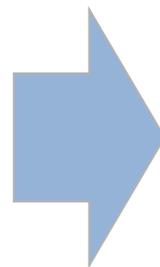
- 社会構造が変化するなか、新たな価値創造を生み出す**多様な人材**が求められている。
- 子どもたちの興味関心を喚起するためには、学校での学びにあわせて、**個人個人が選択可能な多様な体験・学びの充実**が重要。
- 「みらいハッ！ケン」プロジェクトは、**多様な学び・体験の場（「学びのサード・プレイス」）を創り出し、全ての子どもに対してアクセスを確保**。各個人のニーズにきめ細かく応える**未来の学びの実現に向けた挑戦**。

公教育（学校教育）における学び



学習支援 スポーツ プログラミング ものづくり 音楽 美術 ...

各個人が興味関心やニーズに基づいて選択



- ◆ 子どもたちは各自のニーズ・関心に応じて学び・体験を選択可能に
- ◆ 新たな学び・体験サービスの創出
- ◆ デジタルを活用することで、市内に多様な学びのニーズ・実態を把握し、さらなる施策に活用可能

【高校】 制度上は学校長の裁量は大きい。

一方、実際には極めて限定的に運用されている

- 1 **学校間連携**(学校教育法施行規則第97条)
- 2 **大学、高等専修学校、専修学校等における学修の単位認定**
- 3 **知識及び技能に関する審査に係る学修の単位認定** (学校教育法施行規則第98条第2号)
- 4 **ボランティア、インターン等に係る学修の単位認定** (学校教育法施行規則第98条第3号)
- 5 **高等学校卒業程度認定試験の合格科目の単位認定** (学校教育法施行規則第100条第1号)
- 6 **高等学校の別科における学修の単位認定** (学校教育法施行規則第100条第2号)
- 7 **定通併修による単位認定**(高等学校通信教育規程第12条)

【高校】単位制を活用した学校改革の事例：長野県教育委員会

＜軽井沢高校の単位制カリキュラム＞

- 学年制から単位制へ移行中
- 2、3年生は選択科目が多くなる。

【1年生】 … 全員が同じ授業を受講します。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
国語の基礎	英語の基礎	歴史総合	公民	数学Ⅰ	化学基礎	体育	音楽	芸術Ⅰ 音楽の鑑賞	情報Ⅰ 情報コミュニケーションⅠ	家庭基礎	情報Ⅱ	卒業	総評	LHR															

【2年生】 … 22単位の選択必修／自由選択があり、自らの学習をデザインします。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
地理総合	体育	音楽	総評	LHR																									
															選択必修／自由選択														

【3年生】 … 2年次よりも多い26単位が選択必修／自由選択です。自ら組み立てた学習をさらに発展させていきます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
体育	総評	LHR																											
															選択必修／自由選択														

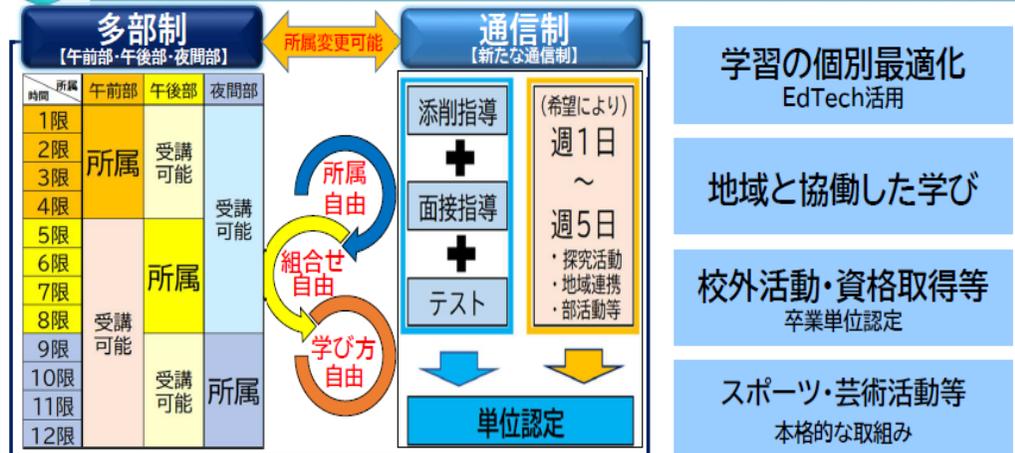
【2・3年次の選択必修／自由選択に設置する科目】

論理国語 文学国語 国語表現 古典探究 地理探究 日本史探究 政治・経済 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学B 数学C 発展数学 実用数学 物理基礎 (※) 生物基礎 (※) 地学基礎 (※) 物理 化学 生物 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ビジネス基礎 観光ビジネス 情報処理 スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ スポーツⅣ 鑑賞研究 (音楽・美術) 声楽 演劇 音楽 ビジュアルデザイン クラフトデザイン 情報メディアデザイン 絵画 フードデザイン 保育基礎 未来探究 デュアル ベーシックⅠ ベーシックⅡ
※卒業までに3つのうち2つを履修

＜長野東高校の学校統合イメージ＞

- 統合を機に「多部制定時制・単位制」と「通信制」を組み合わせ柔軟な学びの実現へ

長野東スーパーフレックス新校（仮称）の学校像として考えられる姿



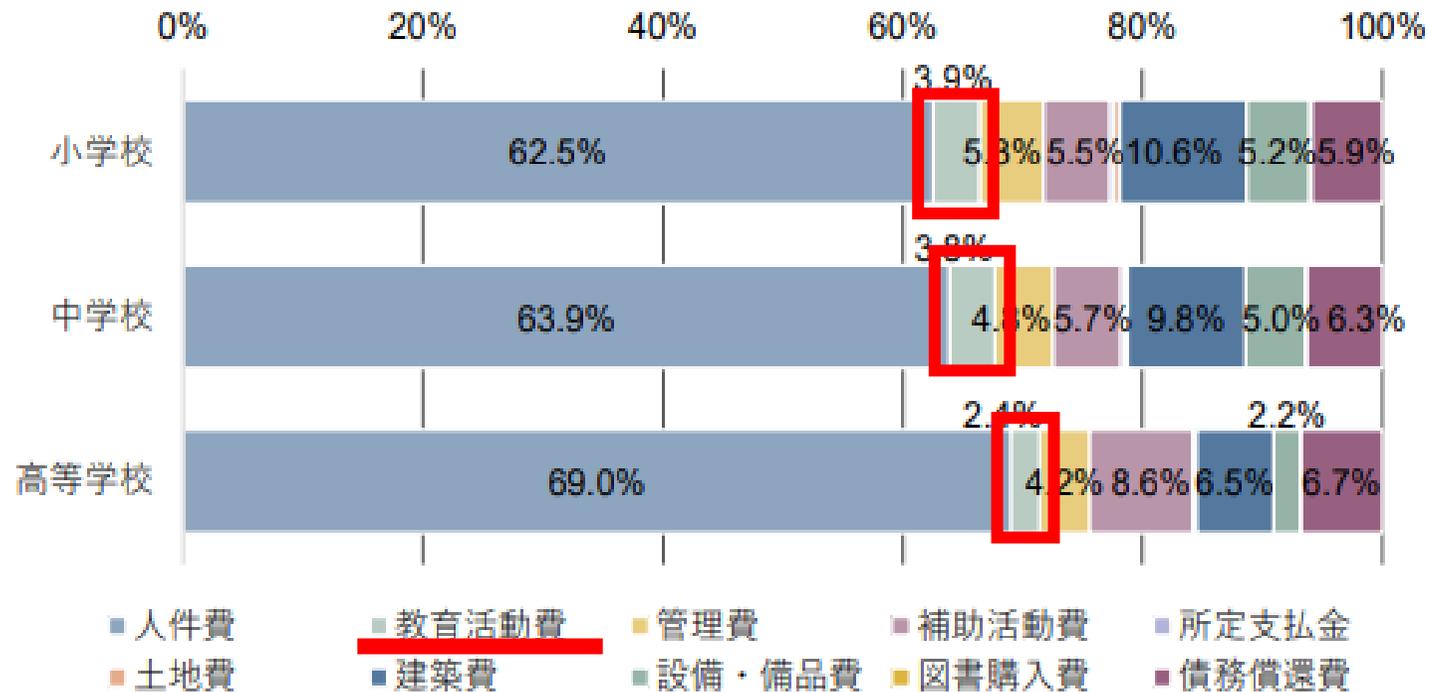
多様な生活・学習スタイルに応じて、フレキシブル(柔軟)に『学びをマネジメント』

※長野県資料より抜粋

学校の予算のうち「教育活動費」は限定的

- 学校の予算の大半は「教委職員人件費」と「建築・設備・備品費」が占める。
- **教育活動費は高校で約2.4%に過ぎず、学校外の民間サービスを利用したり、外部講師を招く予算が極めて限定的。**

図表 1-3 学校教育費（学校別）の支出項目別割合（2020年度）



資料) 文部科学省「地方教育費調査」より作成

一部の企業では、自治体や学校と連携した教育分野の取組が行われている

- 企業は、**資金のほか、人材、施設、商品・サービスなど**、様々な資源を保有。すでに、一部の地域や学校では、企業の資源を活用しながら、教育プログラムを充実させている。
- 学校の探究学習やプロジェクト型の学びの充実を行うプログラムに加え、学校外の学びの充実を自治体・産業界と連携しながら充実する取り組みも存在。

三菱みらい育成財団

- 三菱グループが10年間100億円を投じ、主に高校段階の教育改革を支援。
- 意欲ある高校に継続的な資金を提供するほか、教員研修等も実施。

鎌倉スクールラボファンド

- 企業などから寄付を募り、リアルな社会課題に基づくプロジェクト型学習やプログラミング学習、ICTを活用した個別最適な学び等を実現。
- 年度途中でも民間サービス活用に支出できる機動的な財源として活用

ひなた探究

- 宮崎テレビと民間教育サービス（株式会社Study Valley）が提携して提供。
- 宮崎県内の高校に対して、県内の企業が抱える「生きた課題」を探究学習のテーマとして提供。

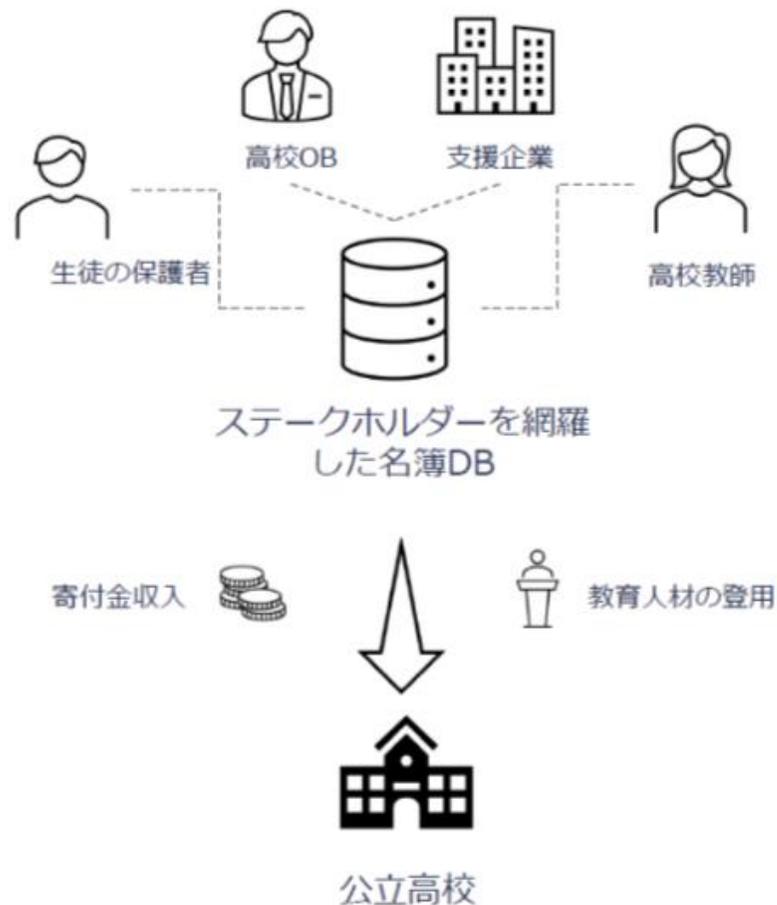
やまがたAI部

- 山形県内の各学校の部活動として、放課後の時間にAIに関する先進技術やデータサイエンスを学ぶ取組。
- 山形県内の企業・教育機関・自治体が連携してサポート。
- 2020年8月の活動開始し、2022年度は21校/130人以上の高校生が入部している。



高校卒業生名簿をクラウドで整備（長野県&株式会社Alumnote）

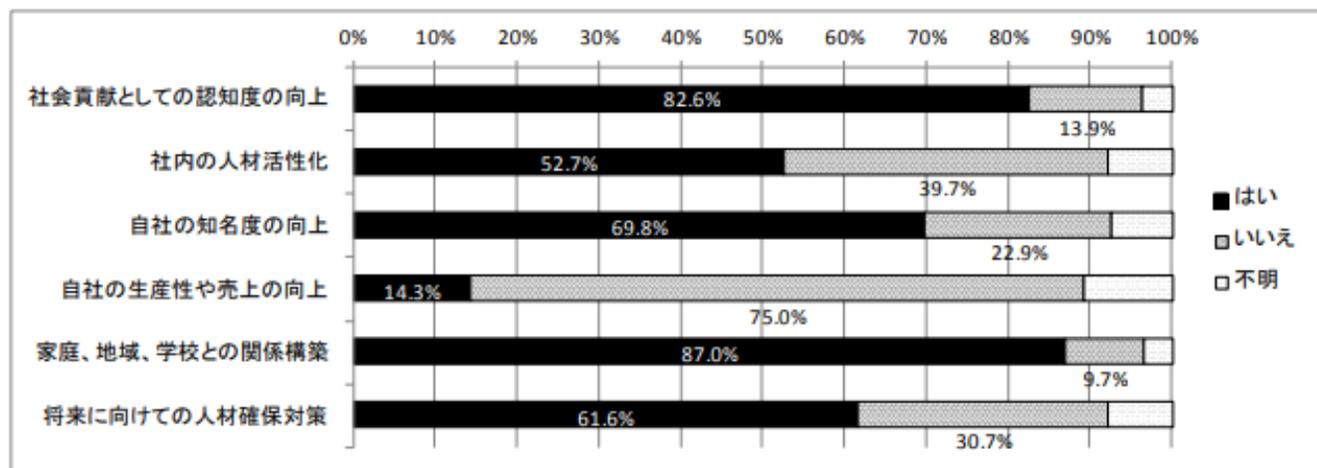
- 長野県の高校を卒業した大学生・社会人を把握し、コンタクト可能に
- 探究活動・キャリア教育の充実、Uターン就職促進に活用できる可能性
- 寄附等をお願いする際の基盤にもなりうる？



企業は教育支援を通じて「地域との関係構築」「認知度向上」を期待

- 企業が学校と連携するメリットとしては、「関係者との関係性構築」「認知度の向上」「将来の人材確保」などが挙げられる。
- 地域の優良企業にとって、高校卒業段階までに接点を持たなければ、大学進学等で地元を離れた人材の採用は困難
- 高校や中学で進展する「探究学習」における教材として、地域企業の課題解決に高校生が取り組むことは、Win-Winとなる可能性。

教育支援活動による企業への効果（複数回答、教育支援実施企業のみ）



<その他 主な自由記述>

- ・若い社員の指導スキルの向上。
- ・入社後の仕事のイメージの具体化によるミスマッチの解消。
- ・業界への理解促進、認知度の向上。
- ・小中学生の機械への興味の喚起、将来の製造を背負う人材の育成。

歴史ある財団に加え、企業・起業家拠出による次世代育成支援の財団・基金の設立が近年多くなっている



公益財団法人
ソニー教育財団

1959年～

孫正義育英財団

2016年～

公益財団法人

パナソニック教育財団

Panasonic Education Foundation

1973年～



一般財団法人

三菱みらい育成財団

2019年～



みてね 基金

2020年～

柳井正財団

2015年～



YAMADA
SHINTARO
D&I
FOUNDATION

2021年～



ロートこどもみらい財団

どんな眼だって、みらいの芽

2021年～

2023年4月開学

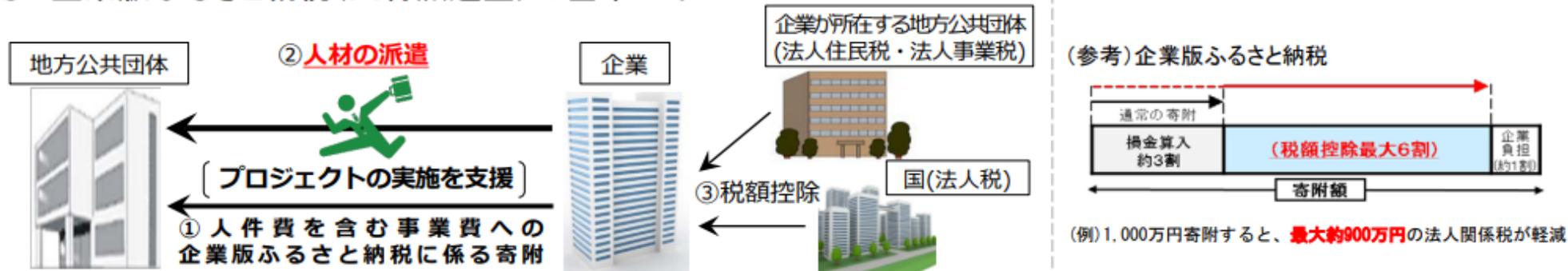


高専とる山

企業版ふるさと納税（人材派遣型）

企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材の地方公共団体等への派遣を促進することを通じて、地方創生のより一層の充実・強化を図る

○ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）の基本スキーム



企業版ふるさと納税（人材派遣型）とは、企業から企業版ふるさと納税に係る寄附があった年度に、当該企業の人材が、寄附活用事業に従事する地方公共団体の職員として任用される場合のほか、地域活性化事業を行う団体等であって、寄附活用事業に関与するものにおいて採用される場合をいう

地方公共団体のメリット

- **専門的知識・ノウハウを有する人材**が、寄附活用事業・プロジェクトに従事することで、地方創生の取組をより一層充実・強化することができる
- 実質的に**人件費を負担することなく、人材を受け入れる**ことができる
- **関係人口の創出・拡大**も期待できる

企業のメリット

- 派遣した人材の**人件費相当額を含む事業費への寄附により、当該経費の最大約9割に相当する税の軽減**を受けることができる
- 寄附による金銭的な支援のみならず、事業の企画・実施に派遣人材が参画し、**企業のノウハウの活用による地域貢献**がしやすくなる
- **人材育成の機会**として活用することができる

○ 活用にあたっての留意事項

- ・ 地方公共団体は寄附企業の**人材を受け入れること及び当該人材の受入期間を対外的に明らかにすること**により透明性を確保
- ・ 寄附企業への**経済的利益供与の禁止**や、地域再生計画に記載する**効果検証の実施**に留意

など

生徒の心に火が点く瞬間は**予測・計画できない**

偶発的な出会いを数多くできる環境づくりが重要

個別の学校単体で**多様な出会いを創ることは困難**
(予想できないトラブルも増える・・・)

学校に**経済的・人的・時間的余力が必要**

大学、地域社会、企業含めて**どう公教育を支えるか？**

【参考】三豊市／三豊市文化・スポーツ振興事業団

目的

- 三豊市では市内にある公立中学校7校において休部や廃部が相次いでいる。
- 子どもに幅広い選択肢を用意するためのプラットフォーム構築が進んでいるが、依然として活動の種類・財源の不足が課題として残っているため、その課題解決に取り組む。

実証フィールド

- 地域：香川県三豊市
- 学校：三豊市内の中学校7校程度
- 部活動：3×3バスケットボール（※3人制バスケットボール）
- 生徒：1669人程度（上記7校の生徒数）

実施内容及び検証事項

- 「放課後学びのプラットフォーム」基金の設置に向けた仕組みづくり
 - 基金設置のプロセスや運用体制は妥当か
 - 資金の出し手の確保の可能性はあるか 等
- 「部活バウチャー」の導入に向けた仕組みづくり・実証
 - 運用体制や運用方針は妥当か
 - プライシングは妥当か 等
- 「放課後学びのプラットフォーム」に参画するモデルクラブ「みとよフューチャーズ」の創設
 - 頻度、指導レベルのニーズはどの程度か
 - 収支バランスは適切か 等

三豊市全体の放課後活動のイメージ

